

石垣島徳洲会病院の病床機能一部変更について

1. 病床種別、病床機能変更について（総病床数に増減なし）

《変更前》

病床種別	病床機能	病床数
一般病床	一般病棟（急性期）	49床

《変更後》

病床種別	病床機能	病床数
一般病床	一般病棟（急性期）	40床
療養病床	地域包括ケア病床	9床
	合計	49床

2. 病床種別、病床機能変更の理由

当院は開院当初より急性期一般病床 49 床の救急告知病院として八重山医療圏におきまして離島僻地医療並びに地域医療に微力にも貢献してきたと自負しております。しかし、当院の現状は急性期一般病床の対象となる患者は減少傾向にあります。また、急性期治療を終えた患者の治療やリハビリテーションを継続的に担う施設がここ八重山圏域には多くはありません。

以上を鑑みたとき今後、当院が地域住民から求められるのは救急医療（二次医療）の一翼を担うとともに一部病床を地域包括ケア病床へ変更することによって患者の「住まい・医療・介護・予防・生活支援（地域包括ケア病床の5つ構成要素）」で地域貢献することと考えています。

昨年 12 月に開催された第 1 回地域医療対策会議におきましても本件については触れさせていただきましたが、許可病床数 49 床のうち 9 床を地域包括ケア病床として厚生局へ申請し本年 2 月 1 日付けで病床変更したことをご報告致します。